

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
哲学	吉本 陵	講義	2		2	1,4	3
授業概要 授業目的	現代の科学技術は私たちの社会に大きな影響を与え続けています。この授業ではその中で科学技術が私たちの（誕生・死を含む）生命に対する影響に焦点を当て、科学技術時代における生と死の意味という問題について哲学的に考察することを試みます。						
到達目標	科学技術が私たちの（誕生・死を含む）生命に与える影響に関する論点を理解すること。 上記の論点について自ら文献資料を調べ、考えたことを論述できるようになること。						
回	学習内容						
1	ガイダンス&イントロダクション						
2	哲学的・倫理的なものの考え方（1）功利主義と義務論						
3	哲学的・倫理的なものの考え方（2）理論を学ぶ意味						
4	現代社会と動物の問題（1）ペットについて						
5	現代社会と動物の問題（2）家畜について						
6	現代社会と動物の問題（3）肉食について						
7	出生前診断と優生思想（1）医療倫理の原則						
8	出生前診断と優生思想（2）出生前診断の歴史と現状						
9	出生前診断と優生思想（3）優生保護法と内なる優生思想						
10	脳死臓器移植の倫理（1）脳死について						
11	脳死臓器移植の倫理（2）脳死臓器移植						
12	未来に対する責任（1）核燃料サイクルの問題						
13	未来に対する責任（2）高レベル放射性廃棄物処分の経緯と現状と課題						
14	未来に対する責任（3）「100,000年後の安全」は可能か？						
15	全体のまとめ						
予習内容 復習内容	予習：学習内容に記載されている用語を調べておくこと。 復習：適宜配布する参考文献表を参考にしながら、毎週配布する講義資料の振り返りをする。						
教科書	教科書は使用しない。参考文献は適宜指示する。						
成績評価	筆記試験(80%)に、平常点(20%)を加味して評価する。						
実務経験							
その他 特記事項	各回の授業後、講義内容についての基本的な質問に対する解答の提出を求める。 平常点はそれをもとに評価する。						